

せいかてい
醒花亭

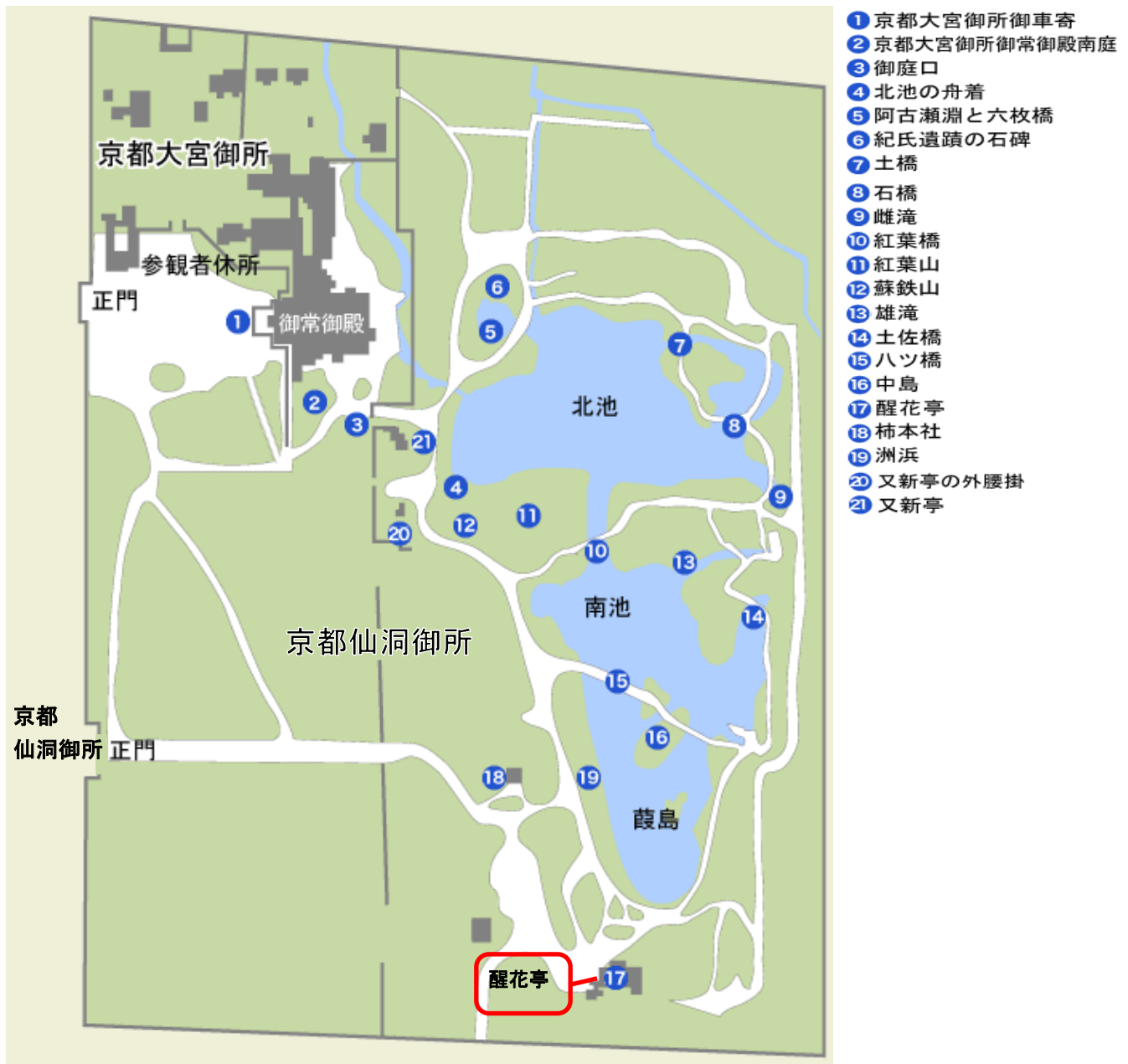


仙洞御所庭園の最も南にある醒花亭は柿葺屋こけらぶき根の茶室で、18世紀前半、霊元上皇の御所だった頃にはあったと考えられます。現在の建物は文化5年(1808)に再建されたもので、嘉永7年の大火で焼失を免れた茶室です。

醒花亭は南池を一望する格好の場所にあり、
焼失した止々斎ししさい、鑑水亭かんすいていとともに煎茶式に言う三店しゅてん（酒店、飯店、茶店）を構成したと思われますが、一方、亭内三部屋を三店にあて、この茶亭一つで三店を兼ねたという説もあります。

内部は、東奥に四畳半の書院があり、その手前（北側）は、庭に面する五畳の入側（縁側）で、書院と入側の境に建具を入れないで、大きな空間として使えるようになっています。他には水屋などがあり、西側には簡単な調理ができるように炉があります。

京都仙洞御所・京都大宮御所案内図



観マークは、参観でご覧になれます。申込み方法は、<http://sankan.kunaicho.go.jp/> をご覧ください。

通マークは、申込不要の京都御所通年公開でご覧になれます。

詳細は、<http://www.kunaicho.go.jp/info/kyototsunen-sks-sankan.html> をご覧ください。

これまでの「《京都》御所と離宮の葉」については、宮内庁ホームページの[こちら](#)からご覧ください。

<問い合わせ先>

〒602-8611 京都市上京区京都御苑3 宮内庁京都事務所

代表電話：075-211-1211 参観係直通電話：075-211-1215